

平成30年度  
事業計画書・収支予算書  
(案)

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して  
新たな100年へのスタート  
～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～

## 1. 基本理念



### 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して 新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～

会頭 渡 邊 博 美

福島商工会議所は、昨年100周年を迎えました。これまでの100年に思いを馳せるとともに、これからの100年を見据え「地域と会員事業所の足腰を強く丈夫に！」を基本コンセプトに掲げ、会員事業所をはじめ関係機関の皆様のご支援ご協力をいただき、記念式典、記念講演会をはじめ各種事業を展開することができましたことに深く感謝申し上げます。

震災発生から7年が経過いたしました。本県は未だ原発事故による風評被害が続いており、後継者問題や人手不足など企業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。そのような中で一昨年、100周年を契機として福島市の真の復興と創生を果たすため「ふくしま将来ビジョン」を策定いたしました。将来に希望の持てるまちづくりを実現させるためには、市民、企業、地域社会が元気で健康であること、人口減少社会の中で広域連携の推進が必要であるという観点から、福島市の将来像を～足腰の強い「健都ふくしま」～と位置づけ、その具体化に向けて事業展開を図っているところであります。

今、福島市は福島駅前通りのリニューアルなどをはじめとする各種事業により中心市街地のまちづくりが大きく進展するとともに、東北中央自動車道の整備の着実な進展により、産業、経済、文化、観光などの発展の促進から、広域連携による県北地域の活性化が大いに期待されています。私たちは、こうした状況を的確に捉え、会員事業所とともに現在の厳しい状況を乗り越え、福島の商工業の発展と地域経済の振興のため着実に事業活動を展開する所存であります。

そこで本年は、基本理念を「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」と掲げ、ふくしま将来ビジョンの実現に向けたアクションプランを着実に展開しながら、更なる復興・創生を推進させるための**新たな100年へのスタート**の年として位置づけ、①福島駅周辺を核とする中心市街地活性化、②福島市の都市形成及び居住環境整備、③中小企業支援策の充実、④観光振興及び交流人口拡大対策の推進、⑤組織・財政基盤の強化を重点施策とし各種事業を着実に実行してまいります。

会員事業所の発展と地方創生の実現のため、行政機関や関係機関と一層の連携強化を図りながら、これまで以上に現場主義に徹してオール福島で福島市の経済の発展と活性化に全力で取り組んでまいります。

## 2. 施策目標

### 商工会議所の使命

#### 地域経済の活性化

まちのにぎわいを支え、未来を創り、福島の復興と再生を推進します。

#### 企業の安定・成長

会員事業所の持続的発展に必要な事業を推進します。

#### 商工会議所の活性化

会員事業所への支援強化に必要な足腰の強い組織づくりを推進します。



#### I 活力ある福島の創造

- A. ふくしま将来ビジョンの推進
- B. 政策提言・要望活動の推進
- C. 中心市街地の活性化
- D. 広域連携の推進
- E. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進
- F. 地域の祭り・伝統文化の興隆
- G. 消費拡大の推進



#### II 会員事業所の発展

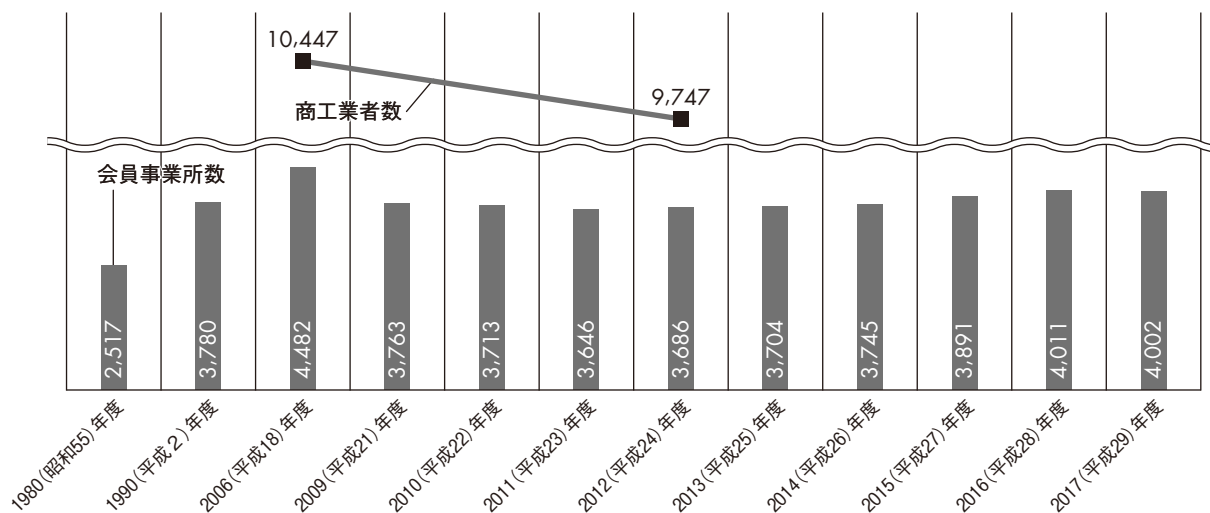
- A. 小規模事業者の伴走型支援の推進
- B. 相談支援体制の充実・強化
- C. 経営革新の推進
- D. ビジネス拡大の推進
- E. 事業再生・事業承継の支援
- F. 創業の推進
- G. 人材育成事業の推進
- H. 雇用対策事業の推進
- I. 各種調査・情報提供
- J. 業種別振興事業の推進
- K. 福利厚生の充実



#### III 魅力ある商工会議所

- A. 商工会議所の運営強化
- B. 運営基盤の強化
- C. 事務局機能の強化
- D. 情報収集力と発信力の強化

### 福島商工会議所の会員数 4,002 (H30.3.16現在)

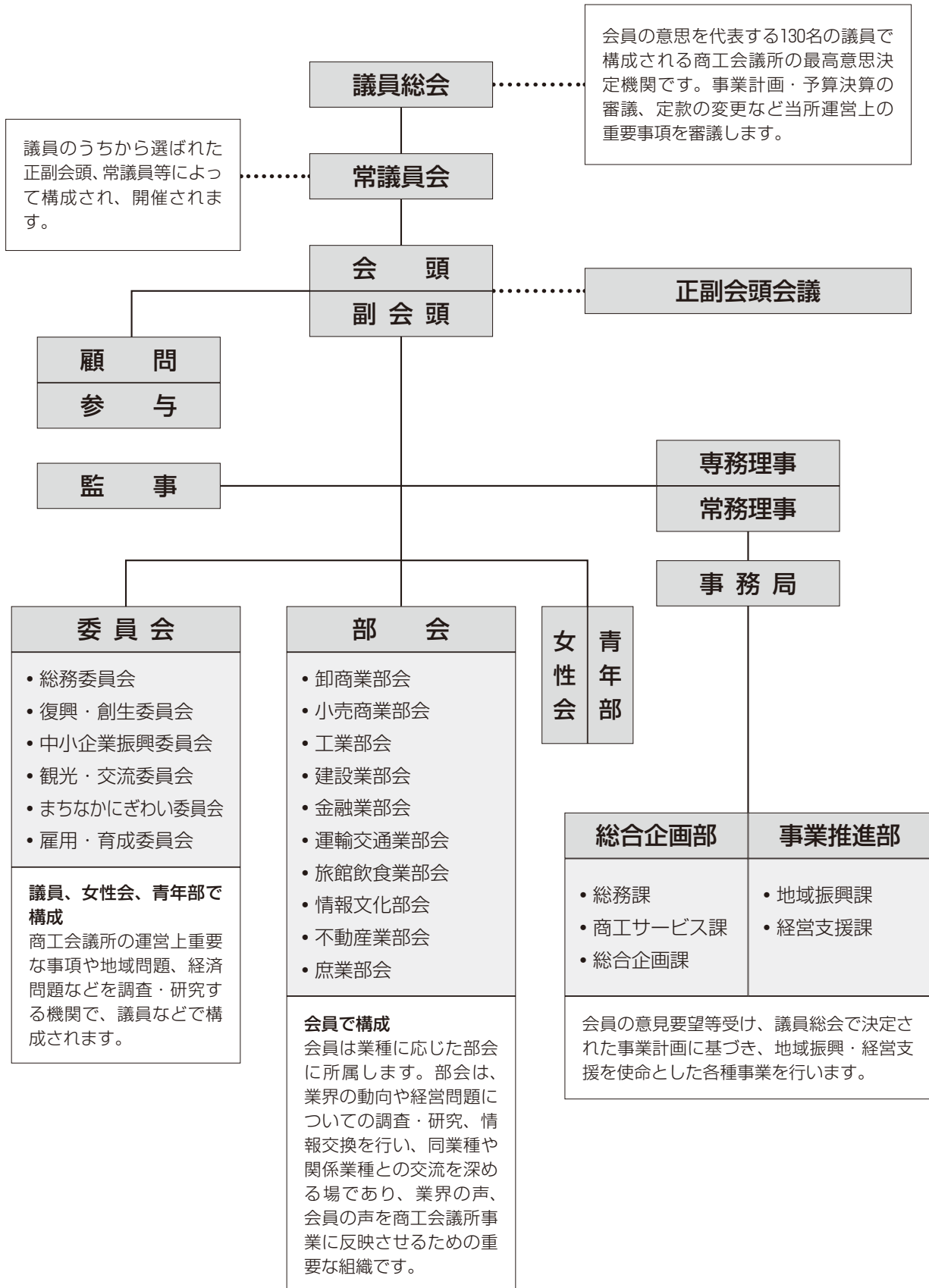


□商工業者数：資料／経済センサス基礎調査（総務省統計局）

- ・数値は福島商工会議所管内（飯坂、松川、飯野地区を除く）の商工業者数
- ・調査は4～5年毎に実施され、直近として2006（平成18）、2012（平成24）の数値を記載
- ・次回調査は2017（平成29）となり、結果は2018（平成30）に公表予定

### 3. 推進体制

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して  
 新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～



# 1. 事業方針

## 1. 基本理念 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

## 2. 年間テーマ 新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～

## 3. 事業方針

### (1) ふくしま将来ビジョン～足腰の強い「健都ふくしま」～の実現による魅力あるまちづくりの推進

福島市が復興・再生を果たし、将来に希望の持てるまちづくりを実現していくため、10年後の福島市の将来像を「足腰の強い「健都ふくしま」」と位置づけ、平成28年度に「ふくしま将来ビジョン」として取りまとめた。前年度において、部会・委員会を中心にビジョンを具体化するためのアクションプランを策定したところであり、今年度は、このアクションプランに基づき、部会・委員会が連携し商工会議所が一体となって事業を実施するものとする。

### (2) 個社支援の強化

ビジョンの柱である中小企業の振興は、商工会議所の最も重要な使命であり、「経営発達支援計画」を重点に会員事業所における課題解決のための経営支援を最優先に取り組む。

また、人手不足への対応を強化するとともに、従業員の健康を増進し生産性の向上を図るため会員事業所における「健康経営<sup>®</sup>」の取り組みを推進する。

### (3) 観光振興及び広域連携の推進

平成31年度の第50回福島わらじまつりや東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、わらじおどりのリニューアルや、会員事業所におけるおもてなしサービスの向上を図る。

また、東北中央自動車道を活用した広域連携や観光の振興を推進する。

### (4) 組織、財政基盤の強化

昨年度、3年前から取組んできた組織率40%、会員数4,000事業所を達成したところであり、会員事業所に対してより魅力あるサービスの提供に努め、会員数の維持拡大を図る。

また、商工会議所の組織の活性化を図るために、部会の再編成に取り組む。



## 4. 主な重点事業

ふくしま将来ビジョンに掲げた「4つの課題」と「組織、財政基盤の強化」において、本年度取り組む主な重点事業は次のとおり。

### (1) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

- ▶ 中合2番館を含む福島駅東口における再開発の推進
- ▶ 老朽化した公共施設の再整備及び新たな賑わい交流拠点施設の検討及び要望の実施
- ▶ 福島駅新東西自由通路の検討
- ▶ 福島駅周辺における賑わい創出イベント等の実施
- ▶ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究及びイベントの推進

### (2) 福島市の都市形成及び居住環境整備

- ▶ 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（相馬～福島～米沢）
- ▶ 連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携組織の設立と連携事業の推進

### (3) 中小企業支援策の充実

- ▶ 「経営発達支援計画」に基づく会員事業所に対する伴走型支援による経営課題の解決
- ▶ 後継者対策、事業承継に関する支援の充実
- ▶ ふるさと元気支援基金等を活用した創業支援及び新分野進出の支援
- ▶ 会員事業所に対する「健康経営<sup>®</sup>」の取組み支援と健康経営セミナーの推進
- ▶ インターンシップの推進、地域ジョブカード制度及び福島市雇用促進事業等の活用による人手不足への対応の強化

### (4) 観光振興及び交流人口拡大対策の推進

- ▶ 第50回福島わらじまつり及び今後の展開を見据えたわらじおどりのリニューアル
- ▶ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応の推進
- ▶ 古関裕而・金子夫妻を主人公としたNHK朝のドラマ実現に向けた活動の実施
- ▶ サービス業のおもてなしサービスと生産性向上のための「おもてなし規格認証」の取得に関する支援
- ▶ 既存観光資源の活用と広域観光の推進

### (5) 組織、財政基盤の強化

- ▶ 新たな会員サービスの充実と会員数の維持拡大
- ▶ 組織活性化のための部会再編成
- ▶ 共済制度の維持拡大と提携損害保険の推進

## 2. 施策体系

### 将来ビジョン実現に向けて

福島商工会議所は、平成29年の創立100年を契機として、10年先の福島市が目指すべき姿を描いた「ふくしま将来ビジョン」を策定した。

ビジョンは福島市の真の復興・再生に向けてのスタートラインであり、その実現に向けた具体的な取り組み（アクションプラン）が何よりも重要である。

平成30年度はビジョン実現のため、アクションプランを遂行しながら、会員の皆様及び行政や関係機関と一層の連携を図り、市民が将来に希望の持てるまちづくりを目指して具体的な事業展開を推進する。

■基本理念 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

■年間テーマ 新たな100年へのスタート  
～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～

### 施策 I 活力ある福島創造（地域経済の活性化）



写真：東北絆まつり仙台（平成29年6月10日～11日）

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～



## 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）



写真：卸商業・小売商業部会合同事業：米沢商工会議所との交流懇談会（平成29年8月9日）

## 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）



写真：会員交流ビアパーティ（創立100周年記念事業として開催・平成29年7月28日）



# (1) 施策 I 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

## I-A ふくしま将来ビジョンの推進

### 1 ビジョン推進のためのアクションプランに基づく事業の展開 **重点**

- (1) 部会・委員会等連携による具体的事業の実施
- (2) 福島市をはじめとする関係機関への提言並びに要望活動の実施
- ★ (3) 会員実態調査の実施による新たな課題の抽出と対応策の検討

## I-B 政策提言・要望活動の推進

### 1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上

- (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
- (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
- (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究

### 2 政策提言・要望活動の実施

- (1) 福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
- (2) 福島市の都市形成及びまちづくりの推進に関する要望
- (3) 中核市としての独自の施策の実施及び連携中枢都市圏構想（※1）の推進に関する要望
- (4) 復興のための幹線道路の整備促進及び建設促進に関する要望
- (5) 観光振興及び交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
- (6) 景気対策及び中小企業対策等に関する要望
- ★ (7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みの強化に関する要望
- (8) 原子力災害に関する要望

## I-C 中心市街地の活性化

### 1 中心市街地活性化の推進

- (1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進
- ☆ (2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化 **重点**
- ★ ① 中合2番館を含む福島駅東口における再開発の推進
- ② 老朽化した公共施設の再整備及び新たな賑わい交流拠点施設の検討及び要望の実施
- ③ 福島駅新東西自由通路の検討
- ④ 福島駅周辺（駅前通り等）における賑わい創出イベント等の実施
- ★ ⑤ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究及びイベントの推進
- ⑥ 街なか広場の利活用の推進

### ★ (3) 若者のまちづくりへの参画の推進

- ① 若い世代に魅力あるまちの創造と、学生が滞留するための施設等の検討
- ② 市内の学生及び若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討
- (4) (株)福島まちづくりセンターとの連携

## 2 にぎわい創出の推進

- (1) 福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）等のにぎわい創出イベントの展開
- (2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力（「まちなかイルミネーション事業」、「きて！みて！呑んでラリー」等）
- (3) 関係団体との情報・意見交換

## 3 公共交通とまちづくりの研究

- (1) 高齢化社会の進展に伴う公共交通のあり方（バリアフリーの整備等）の研究
- (2) LRT、自動運転システム等の新交通システムについての研究

## 4 都心居住の推進

- (1) 集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討
- (2) 県立医大「保健科学部（仮称）」新設に伴う住居ニーズへの対応
- (3) 空き家対策の推進
- (4) 日本版CCRC（※2）の研究

## 5 まちなか情報の発信

- (1) ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化「新しい風ふくしま懇談会」との連携
- (2) まちなかイベントの相互PRの推進

## I-D 広域連携の推進

### 1 福島市の都市形成及び居住環境整備

- (1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（相馬～福島～米沢） **重点**
- ① 相馬・米沢方面からの誘致策の検討
- ② 東北中央自動車道沿線道の駅を活用した本市観光PR・物産展の実施
- ③ 仙台空港・相馬港・東北自動車道沿線の広域観光周遊ルートの検討
- ④ 広域連携によるプロモーションの実施
- ⑤ 東北中央自動車道活用に向け、相馬・米沢の企業・山形大学工学部及び商工会議所等との交流推進
- ★ ⑥ 連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携組織の設立と連携事業の推進
- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- ★ (3) 連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進

# 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

## 新たな100年へのスタート ～ふくしま未来ビジョン実現に向けて～



【凡例】 ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

- (4) 東北中央自動車道大笹生IC周辺整備（道の駅、工業団地等）の促進
- 2 福島西道路の南伸並びに東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進

- (2) スイス連邦のホストタウンとしての交流の促進
- (3) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

### I-E 観光振興及び交流人口拡大対策の推進

- 1 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
  - (1) 「ふくしま花のまちフェスティバル2018」の実施
- 2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進
  - (1) 既存観光資源の活用と広域観光の推進（信夫山、花見山、温泉、福島競馬場、フルーツライン等） **重点**
  - (2) 福島市の歴史（福島競馬場100周年等）の再発見と活用についての検討
  - (3) 県外・海外での観光PRへの支援・協力
  - (4) ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援
- 3 福島市名誉市民 古関裕而氏に関連した各種事業の推進
  - (1) 古関裕而・金子夫妻を主人公としたNHK朝のドラマ実現に向けた活動の実施 **重点**
  - (2) 「古関裕而音楽フェス♪」（青年部）への支援協力
- ★ 4 サービス業のおもてなしサービスと生産性向上のための「おもてなし規格認証」（※3）の取得に関する支援 **重点**
- 5 観光振興のための連携の推進
  - ★ (1) 「全国商工会議所観光振興大会2018in会津若松」への支援・協力
  - (2) 「福が満開、福のしま。」ふくしま秋・冬観光キャンペーン2018」の推進支援
  - (3) 仙台空港を活用した南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討
  - (4) 周辺市町村と連携した広域観光の推進
  - (5) 日本版DMO（※4）に関する調査・研究
  - (6) 観光関係団体（福島市観光コンベンション協会等）との連携強化
- 6 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力
  - (1) 福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等）
  - (2) 「ふくしま吾妻荒川・花見山ツアーマーチ」、「あづま荒川クロスカントリー大会」の運営支援
- 7 国際交流及びインバウンド推進
  - ☆ (1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応の推進 **重点**
    - ① 外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施
    - ② 観光振興に向けた二次交通の整備についての検討
    - ③ 案内標記、無料 wi-fi 環境の整備・拡充
    - ④ 公共交通機関のバリアフリー化の検討

### I-F 地域の祭り・伝統文化の興隆

- 1 福島わらじまつりの興隆
  - ★ (1) 平成31年度第50回福島わらじまつり及び今後の展開を見据えたわらじおどりのリニューアルの推進 **重点**
  - (2) 「第49回福島わらじまつり」の開催 [8月3日(金)、4日(土)]
  - (3) 「東北絆まつり2018盛岡」への参加 [6月2日(土)、3日(日)]
  - (4) 県内外におけるPR活動の推進
- 2 「第40回ふくしま花火大会」の実施協力 [7月28日(土)]
- 3 「第11回ふくしま山車祭り～県北の山車集結～」の実施協力 [5月26日(土)]
- 4 「信夫三山眺まり」に対する支援・協力
- 5 踊り屋台の活動支援

### I-G 消費拡大の推進

- 1 飲食店ガイド・パンフレット等活用による消費拡大の推進
  - (1) 「ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」」の作成による飲食店等PR活動の推進
  - ☆ (2) 優待食事券事業「2018ランチで食うボン（春）（秋）」の実施

※1 連携中枢都市圏構想：地域で相当の規模と中核性を備える圏域の市町村が連携することでコンパクト化とネットワーク化を図り、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点形成すること。

※2 日本版CCRC：高齢者が地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指す。高齢者が積極的に就労や社会活動に参加することによる活性化や、医療介護サービスの活用による雇用の維持が図られるなど、地域へのメリットも大きい。

※3 おもてなし規格認証：サービス産業の活性化と生産性向上のため、サービス事業者のサービス品質の「見える化」を目的に2016年8月に経済産業省が創設。規格認証レベルに段階をつけ、認証マークを店舗等へ掲示することでお客様が事業者を選択できるようになる。

※4 日本版DMO：官民協働で市場調査などの手法を用い、経営的な視点から「観光地域づくり」を進める法人。福島市では（一社）福島市観光コンベンション協会が候補法人に登録。

## (2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ①

### Ⅱ-A 小規模事業者の伴走型支援の推進

1 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化 **重点**

2 ふるさと元気支援事業の推進（新規創業・新分野進出への補助支援） **重点**

3 連携による中小企業振興の推進

- (1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- (2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

### Ⅱ-B 相談支援体制の充実・強化

1 金融に関すること

- (1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進
- (2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
- (3) 会員向け特別融資制度（メンバーズローン）の利用促進
- (4) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
- (5) 金融相談会の開催

2 税務・経理に関すること

- (1) 記帳、決算指導及び確定申告に関する支援
- (2) 記帳の電子化に関する支援（ブルーリターンA等）
- (3) 消費税申告に関する支援

★ (4) 改正民法に関するセミナーの開催

3 消費税に関すること

- (1) 消費税転嫁対策窓口相談事業の実施
  - ① 個別経営なんでも相談会の開催
  - ② 消費税転嫁対策セミナーの開催
- (2) 消費税軽減税率導入に関する相談事業の実施

4 労務に関すること

5 原子力損害賠償に関すること

6 専門家による指導體制の充実

- (1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
- (2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
- (3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
- (4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
- (5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施

7 事業継続に関する支援

- (1) BCP策定に関する支援
- (2) 倒産防止共済制度の普及促進
- (3) 中小企業PL保険制度の普及促進
- (4) 個人情報漏えい賠償責任保険制度の普及促進
- (5) 業務災害補償プランの普及促進
- (6) 休業補償プランの普及促進

### Ⅱ-C 経営革新の推進

1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化

- (1) 経営革新計画策定及び認定に関する支援
- (2) 経営革新に関する個別相談会の開催

### Ⅱ-D ビジネス拡大の推進

1 小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進）

2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

3 医産連携推進事業の充実

- (1) 福島市医産連携研究会の推進
- (2) 福島県立医科大学と中小企業のマッチング及び医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援

4 産学官連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進
- (2) 福島大学の新たな農学系教育研究組織と連携した6次化の検討

# 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

## 新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

- (3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化
- (4) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究
- (5) イノベーションコースト構想に関する地域企業との連携

### 5 ビジネスチャンスの提供

- (1) 会員交流会・商談会の開催
- (2) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録促進等）
- (3) DM配送サービス（企業情報宅配便）による取引拡大支援
- (4) 商取引の照会・斡旋

### 6 優良会員事業所表彰制度による会員企業の顕彰

## II-E 事業再生・事業承継の支援

### 1 事業再生に関すること

- (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
- (2) 事業転換に関する支援

### 2 後継者対策、事業承継に関する支援の充実 **重点**

- (1) 事業承継のマッチングに関する支援
- (2) 事業承継に関する個別相談の実施
- (3) 福島県事業引継ぎ支援センターとの連携

## II-F 創業の推進

**重点**

### 1 創業スクールの実施

### 2 創業に関する個別相談の充実

- (1) ビジネスプラン作成の支援
- (2) 開業資金の調達に関する支援

## II-G 人材育成事業の推進

### 1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

- (1) 商売繁盛塾の開催
- (2) 経営課題別セミナーの開催
- (3) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）
- (4) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）
- ★ (5) 「生産性向上支援訓練」の開催
- ★ (6) 小学生職場体験事業の実施

### 2 各種検定試験による商工技能の向上

- (1) 検定試験受験に関する企業等へのPR強化
- (2) 各種検定試験の実施
  - ① 簿記検定（企業会計知識の習得）
  - ② 販売士検定及び販売士資格更新講習会（消費者の「買いたい」をつくる力の習得）
  - ③ 珠算検定（記憶力及び情報処理力の習得）
  - ④ PC検定（パソコンを駆使した効果的・効率的な業務遂行力の習得）
  - ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定（医療×福祉×建築の総合力の習得）
  - ⑥ ビジネス実務法務検定試験（ビジネス上の基本法律知識の習得）
  - ⑦ カラーコーディネーター検定（色彩効果の活用力の習得）
  - ⑧ 環境社会検定（eco検定）（ビジネスと環境の相関説明力の習得）
  - ⑨ ビジネスマネージャー検定（マネジメントの基礎知識の習得）

## (2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ②

### Ⅱ－H 雇用対策事業の推進

#### 1 雇用対策に関すること

**重点**

- (1) 高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）
- (2) 大学等（福島大学COC+事業（※5））との連携
- (3) ジョブ・カード制度推進事業の実施
- (4) 福島市雇用促進サポート事業の実施
- (5) インターシップの推進
- (6) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携、及び普及啓発

#### 2 働き方改革・若者・女性活躍に関すること **重点**

- (1) 国の働き方改革実現会議の動向についての情報提供
- (2) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発及び推進
- (3) 若者・女性の人材育成についての先進的な取組事例の研究
- (4) 若者・女性活躍推進施策の研究及び会員事業所への周知
- (5) 女性就業促進に関する行政への要望

#### 3 健康経営<sup>®</sup>（※6）・職場環境に関すること **重点**

- (1) 健康経営に関する研究及び情報提供
- ★ (2) 健康経営セミナーの開催
- (3) 健康寿命延伸に関する調査・研究、及び推進

### Ⅱ－I 各種調査・情報提供

#### 1 登録・申請・検査業務の実施

- (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
- (2) 容器包装リサイクル業務の実施
- (3) GS1コード（JANメーカーコード）の登録受付業務の実施
- (4) 原産地証明の発行
- (5) 加工食品の放射性物質測定
- (6) 放射線測定器の貸出

#### 2 地域経済に関する各種調査の実施

- (1) LOBO（早期景況観測）調査
- (2) 年末年始商戦アンケート調査
- (3) 中小企業景況調査

### Ⅱ－J 業種別振興事業の推進 ◎は、部会の重点事業

#### 1 卸売業に関すること

- (1) 新分野展開・新商品開発など新たな取組みに関する勉強会
- (2) 消費トレンドに関する勉強会
- (3) 消費税軽減税率等の各種制度に関する勉強会
- (4) 東北中央自動車道を活かした米沢・相馬の事業所との交流・広域連携事業の検討 ◎
- (5) 小売商業部会等との連携した地域活性化の検討

#### 2 小売業に関すること

- (1) 個店の魅力向上支援と既存商店街の活性化支援 ◎
- (2) おもてなしサービスの向上支援 ◎
- (3) 卸売業および物流業との連携推進による小売業界の活性化推進
- (4) 広域連携事業の開催

#### 3 工業に関すること

- (1) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化 ◎
- (2) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進（米沢、相馬企業や山形大学工学部等との連携） ◎
- (3) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進 ◎
- (4) 人材育成事業の実施（「県北技塾」、「生産性向上支援訓練」の実施）

#### 4 建設業に関すること

- (1) 建設業の支援強化（人材育成・確保、生産性向上への取組み、入札制度見直し等各種要望活動） ◎
- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- (3) 東北中央自動車道福島大笹生IC周辺整備の動きに関する情報の収集
- (4) 福島西道路南進並びに東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進

# 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

## 新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～



【凡例】 ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

- (5) 老朽化が深刻化しつつある中心市街地を中心としたインフラの整備状況に関する情報の収集
- (6) 建設業に関する新たな取組みやまちづくり等の先進的な取組みへの視察

### 5 金融業に関すること

- (1) 福島復興・再生に資する新産業育成に向けた調査・研究（新産業創出拠点の視察・研究等） ◎
- (2) 中小企業支援策の効果的な実施に向けた金融機関との連携強化（福島県事業引継ぎ支援センターとの連携等） ◎
- (3) 経済・金融及び地域動向に関連する講演会の開催

### 6 運輸交通業に関すること

- (1) 公共交通のあり方についての研究（高齢化社会の進展に伴うあり方、公共交通を活用したまちづくり） ◎
- (2) 福島市の都市形成についての研究（各種まちづくり、東北中央自動車道、福島西道路南伸、市内幹線道路に関する情報提供） ◎
- (3) 運輸業界の経営課題についての研究及び関係機関に対する要望

### 7 旅館飲食業に関すること

- (1) 観光振興策の強化 ◎
- (2) 個店の魅力向上のための各種講演会・セミナーの開催 ◎
- (3) 地域飲食店の繁盛支援 ◎
- (4) 関係機関等との連携の強化

### 8 通信サービス業（情報文化）に関すること

- (1) まちづくりにおけるICT活用の研究・推進（観光・防災・防犯面でICT、無料Wi-Fi環境充実） ◎
- (2) 福島市の情報発信力の強化（インバウンド促進に向けた情報発信等） ◎
- (3) 情報通信サービスに関するセミナー等の開催

### 9 不動産業に関すること

- (1) 高齢者・若い世代の都心居住の推進 ◎
- (2) 福島市の土地利用の促進に関する研究 ◎
- (3) 視察会・講演会の実施（「都心居住促進」、「土地利用促進」等）
- (4) 会員事業所への情報の提供

### 10 庶業に関すること

- (1) 事業所におけるおもてなしサービスの向上支援（「おもてなし規格認証」制度に関する支援） ◎
- (2) 市内観光資源に関する研究（既存資源の再発見と新たな観光資源の発掘）

- (3) 健康経営および健康寿命延伸に関する情報提供

- (4) スポーツ振興に関すること（福島ユナイテッドFCへの協力等）

## II-K 福利厚生の実践

### 1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の実践

- (1) 生命共済制度の普及・拡大 **重点**

- (2) 特定退職金制度の普及・拡大

- ☆ (3) 提携損害保険の推進 **重点**

- (4) 小規模企業共済制度の普及・拡大

- (5) 共済加入者還元事業の実施

- ★ (6) 会員交流ビアパーティの開催

### 2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

- (1) 生活習慣病検診の実施

### 3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

### 4 会員事業所従業員の婚活事業の推進

※5 COC+事業：地方創生の一環として、県内の大学・短大が地元就職への機会を増やすための取組み

※6 健康経営<sup>®</sup>：従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と併せて会社の生産性向上を目指す経営手法。「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標

### (3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

Ⅲ-A 商工会議所の運営強化	6 外郭団体との連携
<b>1 運営強化のための会議等の充実</b>	(1) 福島市商店街連合会
(1) 常議員会・議員懇話会の充実	(2) 福島市商店街連合会青年部
(2) 部会長・委員長と正副会頭との意見交換会の開催	(3) 福島青色申告会連合会
(3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催	(4) 福島市青色申告会
(4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催	(5) 福島県珠算連盟
(5) 他地区商工会議所の視察及び懇談会の開催	(6) 福島珠算連盟
(6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催	(7) 福島わらじまつり実行委員会 福島夏まつり委員会
(7) 福島市新年市民交歓会の開催	(8) 福島エネルギー懇談会
<b>2 商工会議所組織の活性化に関すること</b>	(9) 東北経済連合会福島地域懇談会
☆ (1) 部会再編成に関する検討及び実施 <b>重点</b>	(10) 福島県警察官友の会連合会
<b>3 会員サービスの充実</b>	(11) 福島地区警察官友の会
★ (1) 会員満足度アンケートに基づく新たな会員サービス事業の検討	(12) 福島県自衛隊協力会連合会
★ (2) 会員交流ビアパーティの開催（再掲）	(13) 福島市自衛隊協力会
★ (3) 商工会議所活用ガイドブックの作製	(14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会
(4) オリジナルカレンダーの作成	(15) 福島リサイクル推進協議会
<b>4 女性会・青年部の運営支援と連携強化</b>	(16) ふくしま台湾友好協会（海外交流の推進）
(1) 福島商工会議所女性会の運営	(17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
(2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営	(18) 福島市にサッカースタジアムを作る会
(3) 福島商工会議所青年部の運営	(19) 古閑裕而・金子夫妻NHK朝の連続テレビ小説実現協議会
★ (4) 福島県商工会議所青年部連合会の運営	
(5) 各種事業への支援と連携強化	
<b>5 福島県商工会議所連合会の運営</b>	
(1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）	
(2) 要望・懇談の実施	
(3) 風評被害・風化対策事業の実施	
(4) 県内商工会議所職員研修の実施（経営指導員研修、補助員研修、一般職員研修）	

# 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して 新たな100年へのスタート ～ふくしま将来ビジョン実現に向けて～



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

## Ⅲ-B 運営基盤の強化

### 1 組織・財政基盤の強化

(1) 4000会員堅持のための議員・職員による  
新たな会員増強運動の推進 **重点**

☆ (2) 共済制度の維持拡大と提携損害保険の推  
進 **重点**

(3) 財政基盤充実強化に関する検討

### 2 会員事業所の巡回訪問

### 3 未加入事業所に対する会員勧奨

## Ⅲ-C 事務局機能の強化

### 1 事務局組織の見直しと強化

### 2 職員の経営支援能力等の向上

### 3 各種業務の見直し並びに改善の徹底

### 4 法令遵守体制の強化・改善

## Ⅲ-D 情報収集力と発信力の強化

### 1 情報戦略の構築

(1) 会員事業所への発信情報の研究・強化

(2) 未加入事業所と市民への発信情報の研究・強化

① 街かど情報ステーション・ホットボックスによる  
情報発信

② ももりんビジョンによる情報発信

(3) メディアへの発信情報の研究・強化

① マスコミとの意見交換会の開催

② ラジオによる情報発信

### 2 所報Fukushimaの発行と充実

### 3 ホームページ及びICT環境の整備促進

### 4 物産展示室における資料提供の拡充・強化



# 1. 部会事業 (正副部会長については平成30年3月16日現在)

## 部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織です。
- 福島商工会議所では10の部会を設置しています。
- 部会ごとに会員及びその業種・業界の発展のための活動を行います。



平成30年度は福島商工会議所議員任期では第29期となります。(第29期：平成28年11月1日～平成31年10月31日)

◎は重点事業

## 1. 卸商業部会

### 1. 卸売業の経営力強化に関すること

- (1) 新分野展開・新商品開発など新たな取組みに関する勉強会
- (2) 消費トレンドに関する勉強会
- (3) 消費税軽減税率等の各種制度に関する勉強会

### 2. 卸売業の商環境及び地域経済の向上に関すること

- ◎(1) 東北中央自動車道を活かした米沢・相馬の事業所との交流・広域連携事業の検討
- (2) 福島商工会議所小売商業部会等と連携した地域活性化の検討

### 第29期 正副部会長

部会長	(株)福島丸公 代表取締役会長 石本 朗
副部会長	(株)近野 代表取締役社長 近野 輝雄
副部会長	渋谷レックス(株) 代表取締役会長 渋谷 順子
副部会長	福島リコピー販売(株) 代表取締役社長 蒲倉 達也
副部会長	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長 右近 八郎



## 2. 小売商業部会

- ◎1. 個店の魅力向上支援と既存商店街の活性化支援
- (1) 個店の魅力づくり支援セミナー開催および情報発信
  - (2) 若手経営者および学生との意見交換による連携推進
  - (3) 商店街との連携による各種イベントへの協力および商店街におけるまちづくりに対する支援と情報提供
- ◎2. おもてなしサービスの向上支援
- (1) 「おもてなし規格認証制度」の取得に関する支援
  - (2) 運転免許証自主返納支援制度推進による高齢者の買い物支援
  - (3) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた案内標記とWi-Fi環境整備支援
3. 卸売業および物流業との連携推進による小売業界の活性化推進
4. 広域連携事業の開催
- (1) 東北中央自動車道活用に向けた相馬・米沢商工会議所との交流推進
  - (2) 相馬・米沢方面から観光客・買い物客などを呼び込むための誘致策の検討
  - (3) 販路拡大のための近隣地区商店街、商業施設等の先進地視察会の開催

※関連する項目においては会議所の他の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める

### 第29期 正副部会長

部会長	(株)ダイユーエイト	
	専務取締役	三瓶 善明
副部会長	(株)いちい	
	代表取締役社長	伊藤 信弘
副部会長	(株)川瀬酒販	
	代表取締役	川瀬 成人
副部会長	(株)中合	
	代表取締役社長	黒崎 浩一
副部会長	福島市商店街連合会	
	会長	小河日出男

## 3. 工業部会

- ◎1. 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化
- ・当所工業部会員の出前工場見学会（会員スピーチ、製品紹介等）を継続開催して、その現状と課題等を知り、福島市のものづくり企業間の連携の推進を図る。
- ◎2. 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進
- ・東北中央自動車道の開通に合わせて、米沢・相馬両市の企業や山形大学工学部等とのさらなる連携の推進を図る。
  - ・新産業の育成や産業集積などに関する研究機関や大学等を継続して視察することにより、研究機関等との連携の可能性を模索する。
  - ・福島市医産連携研究会との連携の推進により、医療福祉分野等への新規参入の可能性を探る。
  - ・国、県、市等における産学官連携、新産業の創出、産業集積等の製造業支援施策について、福島市の産業交流プラザ等との連携を図り、各種情報の収集及び提供を行う。
- ◎3. 県内外商工会議所工業部会との交流の推進
- ・福島市から米沢市まで開通し、将来的に相馬市まで繋がる東北中央自動車道の利活用推進を図るための、三都市（仙台・米沢・会津若松）工業部会交流会を活用した米沢・相馬商工会議所工業部会との交流を始めとした、県内外商工会議所工業部会との交流の推進を図る。
4. 人材育成事業の実施
- ・管内製造企業の個々の技術者等のレベルアップを図り、地域製造業者の底上げを図ることを目的として、「県北技塾」を開催する。
  - ・地域の中小企業等が持続的に成長するために重要である、労働者一人一人の生産性向上を図ることを目的として、「生産性向上支援訓練」を開催する。

※事業の実施に当たっては、他委員会や部会等との連携を図りながら取り組んでいくものとする。

### 第29期 正副部会長

部会長	加藤鉄工(株)	
	代表取締役社長	加藤 利夫
副部会長	アサヒ通信(株)	
	代表取締役会長	菅野 國延
副部会長	協三工業(株)	
	代表取締役	加藤 守
副部会長	サンヨー缶詰(株)	
	代表取締役社長	三枝 通晃
副部会長	福島製鋼(株)	
	代表取締役社長	三田 進
副部会長	(株)福島製作所	
	相談役	藤原 英男
副部会長	(株)山川印刷所	
	専務取締役	山川 彬
副部会長	ワイザーエル(株)	
	取締役会長	山岸 則紀

## 4. 建設業部会

### ◎ 1. 建設業の支援強化に向けた取組み

- (1) 各種人材育成・確保に向けた取組みに関する検討
- (2) 生産性向上への取組み等今後の建設業の課題についての検討
- (3) 入札制度の見直し等各種要望活動の実施
- (4) 各種企業支援に関する情報提供

### 2. 福島市の都市形成に関する検討

- (1) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- (2) 東北中央自動車道福島大笹生IC周辺整備の動きに関する情報の収集
- (3) 福島西道路南進並びに東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルート整備促進
- (4) 老朽化が深刻化しつつある中心市街地を中心としたインフラの整備状況に関する情報の収集
- (5) その他福島の地域開発に関する情報の収集

### 3. 先進地視察会の実施

建設業に関する新たな取組みやまちづくり等の先進的な取組みへの視察

※関連する事業においては、他の部会・委員会並びに関連団体との連携を図って実施する。

### 第29期 正副部会長

部会長	東信建設(株) 代表取締役	佐久間政文
副部会長	入三機材(株) 代表取締役	上西 皓暉
副部会長	大槻電設工業(株) 代表取締役	大槻 博太
副部会長	(株)杜設計 代表取締役	鈴木 宏幸
副部会長	日東物産(株) 代表取締役会長	大橋 廣治
副部会長	コボックス(株) 代表取締役	小林 仁一
副部会長	小林土木(株) 代表取締役	小林 健夫
副部会長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副部会長	福島ネオ工業(株) 代表取締役	吉川 昭

## 5. 金融業部会

### ◎ 1. 福島復興・再生に資する新産業育成に向けた調査・研究

福島の復興・再生を加速化するためには、福島県が推進する新産業の育成・産業集積が必要不可欠である。新産業の育成に向けた調査・研究を引き続き行う。

- ・新産業創出拠点の視察・研究（他部会とも連携して実施）
- ・行政並びに関係機関等からの情報収集及び提供

### ◎ 2. 中小企業支援策の効果的な実施に向けた金融機関との連携強化

中小企業・小規模事業者の持続的な発展を促進するためには、中小企業支援策の充実を図ることが必要不可欠である。効果的な支援を行うため、下記事項について金融機関等との連携を強化していく。

### ◎ 福島県事業引継ぎ支援センターと連携して行う、事業承継推進に向けた取組みへの支援

- ・創業や新事業分野進出支援における金融機関等との連携協力（創業スクール、ふるさと元気支援補助金等の実施支援）
- ・経営意欲及び地域経済の活性化を高める「優良会員事業者表彰制度」への支援・協力

### 3. 経済・金融及び地域動向に関連する講演会の開催

- ・経済・金融・地域動向をはじめ、事業計画に記載した項目やタイムリーな情報に関する講演会の開催

### 第29期 正副部会長

部会長	福島信用金庫 理事長	樋口 郁雄
副部会長	(株)東邦銀行 専務取締役	佐藤 稔
副部会長	(株)福島銀行 取締役社長	森川 英治



## 6. 運輸交通業部会

### ◎1. 公共交通のあり方についての研究

- (1) 高齢化社会の進展に伴う公共交通のあり方について
  - ・公共交通のバリアフリーの整備についての研究
  - ・高齢者免許証返納支援制度に関する情報の提供
- (2) 公共交通を活用したまちづくりに関する研究
  - ・LRTや自動運転システム等の新交通システムについての研究

### ◎2. 福島市の都市形成についての研究

- (1) 福島市の各種まちづくりに関する情報の提供
- (2) 東北中央自動車道、福島西道路南伸、市内幹線道路に関する情報の提供
  - ・相馬、米沢商工会議所との部会活動を通じた連携の推進

### 3. 運輸業界の抱える課題に関すること

- (1) 業界の経営課題についての研究及び関係機関に対する要望
- (2) 業界の抱える課題に関する情報の提供

※事業の実施に当たっては、各委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

### 第29期 正副部長

部会長	福島トヨタ自動車(株)
	代表取締役社長 佐藤 健介
副部長	ネットトヨタ福島(株)
	代表取締役会長 大沼 健次
副部長	福島交通(株)
	執行役員福島支社長 茅原 稔
副部長	福島日産自動車(株)
	代表取締役社長 金子與志人

## 7. 旅館飲食業部会

### ◎1. 観光振興策の強化

- (1) 地域の食文化・果物等を活用した着地型観光戦略への支援
- (2) 事業所における「おもてなし」サービスの向上や「おもてなし規格認証制度」の取得に関する支援
- (3) 東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えたインバウンドに関する研究（サービスや滞在プログラムの検討等）

### ◎2. 個店の魅力向上のための各種講習会・セミナーの開催

- (1) SNS等を活用した情報発信に関するセミナー
- (2) インバウンドへの対応に関するセミナー

### ◎3. 地域飲食店の繁盛支援

- (1) 『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」』の作成による飲食店等PR活動の推進
- (2) 当所「ランチで食うボン」事業への協力

### 4. 関係機関等との連携の強化

- (1) 福島市「もりんカフェ」事業への協力
- (2) 中心市街地活性化へ向けた「福島きて！みて！吞んでラリー」への協力
- (3) 県・市観光部局、関係機関等との連携の強化および推進

※事業の実施に当たっては、各委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

### 第29期 正副部長

部会長	(株)ザ・ホテル大亀
	代表取締役 渡辺 豊
副部長	福島飲食業組合
	組合長 菅野 裕輔
副部長	福島社交飲食業組合
	組合長 鈴木 悦朗
副部長	(有)吉川屋
	代表取締役 畠 隆章
副部長	(有)シーリン
	代表取締役 日比野恒夫

## 8. 情報文化部会

- ◎ 1. まちづくりにおけるICT活用の研究・推進
  - (1) 観光や防災・防犯面でのICT活用の研究・推進
  - (2) 無料Wi-Fi環境の充実に向けた研究・推進
  
- ◎ 2. 福島市の情報発信力の強化
  - (1) 県都としての情報発信力の更なる強化に向けた調査・研究
  - (2) インバウンド促進に向けた情報発信（外国語表記整備・外国語による情報発信等）の調査・研究
  
- 3. 情報通信サービスに関するセミナー等の開催  
情報通信分野の最新動向に関するセミナーや講習会の開催
  
- 4. 部会員スピーチの実施  
部会員が持つ業界、地域、文化、情報通信等に関する情報や、地域問題・社会問題などの分野を問わない知見を共有する機会を設け、部会員相互の資質向上、理解と交流を図る。

### 第29期 正副部会長

部会長	東日本電信電話(株)福島支店
理事支店長	山口 圭介
副部会長	朝日システム(株)
代表取締役	博多 義雄
副部会長	(株)インフォメーション・ネットワーク福島
代表取締役社長	半澤 隆
副部会長	(株)テレビユー福島
代表取締役社長	信国 一郎
副部会長	福島テレビ(株)
代表取締役社長	森 洋一
副部会長	(株)福島民報社
常務取締役・編集主幹	芳見 弘一
副部会長	福島民友新聞(株)
代表取締役社長	五阿弥宏安
副部会長	(株)ラジオ福島
代表取締役社長	半野 秀一

※各事業の実施にあたっては、他委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。



## 9. 不動産業部会

### ◎1. 高齢者・若い世代の都心居住の推進

- (1) 都心居住促進のための環境整備の検討
  - ・集合住宅の整備促進およびニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討
  - ・県立医大「保健科学部（仮称）」の新設に伴う住居ニーズへの対応
- (2) 空き家対策の推進
  - ・本市の空き家の現状と課題の把握並びに利活用に関する研究
  - ・空き家バンク事業を活用した居住施策の促進
- (3) 日本版CCRC（注1）に関する研究

### ◎2. 福島市の土地利用の促進に関する研究

- (1) 東北中央自動車道および福島西道路沿線等の周辺の土地利用のあり方の研究
- (2) 市街化調整区域の見直しを含めた土地利用に関する研究

### 3. 視察会・講演会の実施

- ・「都心居住促進」、「土地利用促進」に関する視察会・講演会等の開催

### 4. 会員事業所への情報の提供

- ・各種不動産に関連する情報提供の実施

※各種事業や視察会等の実施に当たっては、各委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

◇注1「日本版CCRC」：高齢者が地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指す。高齢者が積極的に就労や社会活動に参加することによる活性化や、医療介護サービスの活用による雇用の維持が図られるなど、地域へのメリットも大きい。

### 第29期 正副部会長

部会長	日本通商(株)	代表取締役	藤田勝太郎
副部会長	東栄物産(株)	代表取締役	安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション	代表取締役会長	岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所	代表取締役	加納 武志
副部会長	小松興商(株)	代表取締役	小松 富彦
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所	代表取締役	金子 克之
副部会長	(株)芭蕉堂	代表取締役	斎藤 伸洋
副部会長	(株)丹治伊蔵商店	代表取締役	丹治 洋子

## 10. 庶業部会

### ◎1. 事業所におけるおもてなしサービスの向上支援

- (1) おもてなし向上に関する講習会等の開催
- (2) 「おもてなし規格認証」制度の周知および認証取得に向けた支援

### 2. 市内観光資源に関する研究

- (1) 温泉、スカイライン、花見山、信夫山等の既存資源の再発見
- (2) 新たな観光資源の発掘

### 3. 健康経営および健康寿命延伸に関する情報提供

### 4. スポーツ振興に関すること

福島ユナイテッドFCのサポーター増強への協力および試合観戦等

※テーマによっては、他の部会・委員会と連携して事業を実施することとする。

### 第29期 正副部会長

部会長	こころネット(株)	代表取締役会長	菅野 松一
副部会長	キョウワプロテック(株)	代表取締役	吾妻 学
副部会長	(株)クリーンテック	相談役名誉会長	反後 堯雄
副部会長	福島市観光開発(株)	代表取締役社長	小林 克弘

## 2. 委員会事業 (正副委員長については平成30年3月16日現在)

### 委員会とは

- 「委員会」は、福島全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織です。
- 地域の課題に対応するため、6つの委員会が設けられています。
- 議員企業と女性会・青年部で構成され、それぞれの知見を活かしていきます。



平成30年度は福島商工会議所議員任期では第29期となります。(第29期：平成28年11月1日～平成31年10月31日)

◎は重点事業

### 1. 総務委員会

ふくしま将来ビジョン～足腰の強い「健都ふくしま」を目指して、平成30年度を新たな100年のスタートの年ととらえ、更なる福島商工会議所活動の活発化の推進のため、商工会議所としての基盤を強固なものとし、組織の活性化を図ることを目的に、『新たな100年へのスタート』として、以下事業を実施していく。

#### 1. 商工会議所組織の活性化に関すること

- (1) 部会再編成を主とした組織の見直しに関する検討及び実施
- (2) 会員満足度向上に関する事業の検討

#### 2. 商工会議所財政基盤の充実強化に関すること

- (1) 4000会員堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動に関する検討
- (2) 会員向け生命共済、個人保険及び各種保険制度加入促進
- (3) その他財政基盤充実強化に関する検討

#### 第29期 正副委員長

委員長	朝日システム(株)	
	代表取締役	博多 義雄
副委員長	西川サッシ販売(株)	
	代表取締役会長	西川 博美
副委員長	(株)日進堂印刷所	
	代表取締役社長	佐久間信幸



## 2. 復興・創生委員会

『ふくしま将来ビジョン』実現に向けたアクションプランの実施

### ◎1. 中心市街地の活性化施策の検討

復興・創生委員会としてアクションプランに掲げた「街なか回遊施策」について、下記の検討並びに事業を進める。

- (1) 「若者の中心市街地に関する調査」結果に基づいた若者の街なか回遊を高めるための施策の検討
- (2) 街なか回遊化に向けた公共サービス向上についての検討

### ◎2. アクションプランの進捗管理

各委員会・部会で策定したアクションプランの取りまとめを行い、その実現について関係団体等への提言や具体的な事業を検討するとともに、その進捗状況について連絡と調整を図る。

また会員実態調査を実施し、結果の分析により新たな課題の抽出や対応策（アクションプラン）の検討を行う。

### 第29期 正副委員長

委員長	(株)いちい
	代表取締役社長 伊藤 信弘
副委員長	コボックス(株)
	代表取締役 小林 仁一
副委員長	(株)第一印刷
	代表取締役社長 古川 幸治



### 3. 中小企業振興委員会

#### ◎1. 中小企業の経営支援の強化及び新規創業・新分野進出に関する支援・協力

改正小規模支援法に基づいた経営発達支援計画による会員事業所の経営支援

- ・福島県事業引継ぎ支援センター及び関係機関団体等と連携した事業承継・後継者問題等に関する支援・拡充
- ・ふるさと元気支援補助金等による新規創業・第二創業の支援及び創業スクールを活用した支援の強化

#### ◎2. 中核市及び連携中枢都市圏の形成促進に関する研究

- ・中核市としての福島市独自の施策及び連携中枢都市圏構想における周辺市町村との基本的な目的や連携する取組みなどを規定する連携協約における産業振興に関する研究  
(具体的な事業に関しては、産学金官民の関係者を構成員とした「連携中枢都市圏ビジョン懇談会」で決定)

#### ◎3. 大学をはじめ企業や研究機関、行政等との産学官連携の推進

- ・平成31年4月に金谷川の既存キャンパス内に開設される福島大学農学系教育研究組織（農学類）と連携した6次化事業についての研究
- ・近隣の大学等をはじめとする研究機関との産学連携の推進
- ・研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化

#### 4. 優良会員事業所表彰制度の実施

- ・新商品・新技術開発の促進、独自のサービス手法などにより著しい発展を遂げた事業所及び、省資源・省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所、子育て世代の女性の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所などを顕彰することにより、事業所の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的に実施する。

※表彰の種類

- 経営革新賞      ○環境改善賞      ○地域貢献賞

#### 5. 連携による中小企業振興の推進及び情報提供

- ・福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- ・オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
- ・医療、再生可能エネルギー、ロボット産業等に関する情報提供

※事業内容によっては、視察研修会を開催すると共に、他委員会や部会との連携を図りながら、事業を進めていくものとする。

#### 第29期 正副委員長

委員長	大槻電設工業(株)	
	代表取締役	大槻 博太
副委員長	(株)大丸工務店	
	代表取締役	大和田知昭
副委員長	山正酸素(株)	
	代表取締役会長	佐藤 允昭



## 4. 観光・交流委員会

### ◎1. 東京オリンピック・パラリンピックを見据えたインバウンドの推進

- (1) 外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施
- (2) 「おもてなし規格認証制度」の取得に関する支援
- (3) 観光振興に向けた二次交通の整備について検討
- (4) 無料Wi-Fi環境の整備、拡充
- (5) 公共交通機関のバリアフリー化の検討

### ◎2. 仙台国際空港や東北中央自動車道の活用等による広域連携の促進

- (1) 相馬・米沢方面から観光客・買い物客などを呼び込むための誘致策の検討
- (2) 東北中央自動車道沿線道の駅を活用した本市観光PR・物産展の実施
- (3) 仙台空港・相馬港・東北中央自動車道沿線の広域観光周遊ルートの検討及び視察会の実施
- (4) 広域連携によるプロモーションの実施

### ◎3. 歴史、文化を活用したまちづくり

- (1) 福島市名誉市民「古閑裕而」氏に関連した各種事業の推進
- (2) 福島市の歴史（福島競馬場100周年等）の再発見と活用について検討

### ◎4. 「全国商工会議所観光振興大会2018in会津若松」への支援・協力

### 5. 観光振興策の強化及びDMOとの連携

- (1) 既存観光資源（信夫山・福島競馬場・フルーツライン・旧広瀬座等）の利活用についての調査・研究及び視察会の実施
- (2) 春及び秋の観光シーズンに連動した誘客事業（優待お食事券・花のまちふくしま等）の実施
- (3) インバウンド拡大に関する調査・研究
- (4) 日本版DMO候補法人に登録された「福島市観光コンベンション協会」との連携

### 6. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力

### 7. 観光振興に関する各種情報提供

※各事業を実施する際は、他委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

### 第29期 正副委員長

委員長	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	佐藤 豪一
副委員長	福島ツーリストサービス(株) 代表取締役	齋藤 修
副委員長	(有)吉川屋 代表取締役	島 隆章

## 5. まちなかにぎわい委員会

### 平成30年度委員会事業の目的

福島市中心市街地のにぎわい創出を推進するため、行政・企業・団体・商店街が連携の強化を図り「地元から、地元の皆で街を元気に」することを目的とする。

#### ◎ 1. 福島市中心市街地の振興

##### (1) 駅前通りのイベント事業の充実

- ① 駅前通りを会場とするイベント（福島駅前元気プロジェクト、当所青年部、女性会、市商連等主催イベント）のさらなる充実の検討
- ② 駅前通りの歩行者天国化の検討
- ③ 他団体主催や商店街等の各種行事・イベント（ふくしま山車祭り、踊り屋台、街なかイルミネーション事業等）へのさらなる支援・協力の実施

#### 2. 若者のまちづくりへの参画

##### (1) 福島県立医科大学と福島学院大学を核とした若い世代に魅力のあるまちの創造

- ① 福島県立医科大学、福島学院大学等との連携によるまちなかでのイベントの実施並びに学生が滞留するための施設等の検討

##### (2) 市内の学生及び若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくり

- ① 福島県立医科大学、福島学院大学、福島大学等との連携による取組み（学生との意見交換会等の開催）
- ② 若者をまちづくり活動に取り込んでいる事例の研究
- ③ 各種調査・ヒアリング調査をもとにした福島市中心部の各商店街との懇談会への参画

※関連する項目においては会議所の他の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める

### 第29期 正副委員長

委員長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男
副委員長	(株)中合
	代表取締役社長 黒崎 浩一
副委員長	(株)福島まちづくりセンター
	常務取締役 草野 健



## 6. 雇用・育成委員会

### 平成30年度委員会事業の目的

少子高齢化により、我が国の労働人口は今後増々減少していくことが予想されている。

そのような状況下において、いかにして意欲ある人材を採用し、育成していくかが企業の継続的発展にとって重要な要素の一つである。

また、雇用・育成と併せて、若者や女性の活躍、働き方改革や健康経営について推進するため、行政・企業・団体等と連携の強化を図り、当所創立100周年記念事業として策定された『ふくしま将来ビジョン』の実現に向けて、当委員会としてこれらの課題に対する調査研究事業を中心に活動を行っていくことを目的とする。

### 1. 雇用および人材育成に関すること

- ◎(1) 高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）
- ◎(2) 大学等（福島大学COC+事業）との連携（人材育成・インターンシップの充実・雇用創出等）
- (3) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携、及び普及啓発

### 2. 働き方改革・若者・女性活躍に関すること

- (1) 国の働き方改革実現会議の動向についての情報提供
- ◎(2) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発及び推進
- ◎(3) 若者・女性の人材育成についての先進的な取組事例の研究
- (4) 若者・女性活躍推進施策の研究及び会員事業所への周知
- (5) 女性の就業促進に関する行政への要望

### 3. 健康経営・職場環境に関すること

- ◎(1) 健康経営に関する研究及び情報提供
- ◎(2) 健康経営セミナーの開催
- (3) 健康寿命延伸に関する調査・研究、及び推進

※関連する項目においては会議所の他の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める

### 第29期 正副委員長

委員長	(株)東邦銀行 専務取締役	佐藤 稔
副委員長	日東物産(株) 代表取締役会長	大橋 廣治
副委員長	(株)古俣工務店 代表取締役	古俣 猛